



えんだより



2021年9月
吉野幼稚園

主 題：「心と力を合わせる」

聖書のことば：「自分のことだけでなく他人のことにも注意を払いなさい」（フィリピの手紙 2：4）

一学期もなんとか無事に終わり、夏休みに入りました。一学期中、保護者の皆様方には、本園の教育活動に際しまして絶大なるご支援・ご協力を賜り、大変感謝申し上げます。

夏休みに入ってすぐに、年長児（Aグループ）を対象に、「お泊り保育」に代わって桜島での「体験学習」を実施いたしました。フェリー乗船やビジターセンター、恐竜公園や溶岩展望所など、盛りだくさんの内容でした。子どもたちには、きっといい思い出がたくさんできたことでしょう。

さて、子どもはどのようにして、豊かな環境の中から自分自身の発達に必要な養分を吸収していくのでしょうか。子どもは生まれて間もなくから自分が見えるもの、さわれるものに強い興味を持ち、手で持ったり、さわったり、もてあそんだりします。また、動くものに注目したり、音のする方に顔を向けたりします。このことから子どもは身の回りにあるものや音や動きを自分の五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を使って、興味を示しはじめることがわかります。子どもは自分の身の回りにあるものを、自分の感覚や筋肉運動を通して知っていくということになります。

そして、少し成長すると、子どもは身の回りにあるもので興味を持ったものを使って素朴なあそびを始めます。このことから教育のはじまりは ①興味を持つことから自発的な活動へ ②自分の感覚・筋肉を使うことです。この現実の姿の中に教育の基本が見られると思います。

これからも、一人ひとりの子どもと接していく中で、子どもたちが本来潜在的に持っている「成長する力」を育んでいきたいものです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

9月のねらい

- Aグループ・運動会の練習を通して自分の力を試し、仲間と協力、励ましあいながら自分なりの力を発揮する
- Bグループ・運動遊びや体操を楽しむ中で、相手の気持ちの理解や協力をしながら集団の団結を高める
- CDグループ・友だちと触れ合い、言葉を交わしながら運動遊びの楽しさを感じる